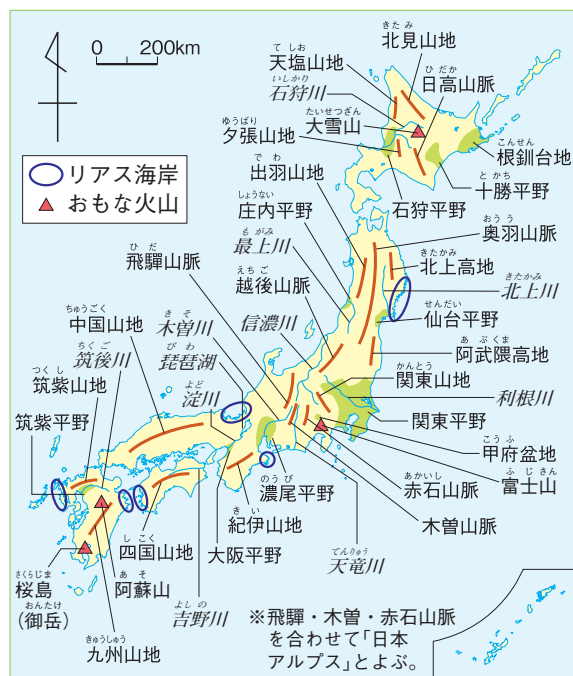
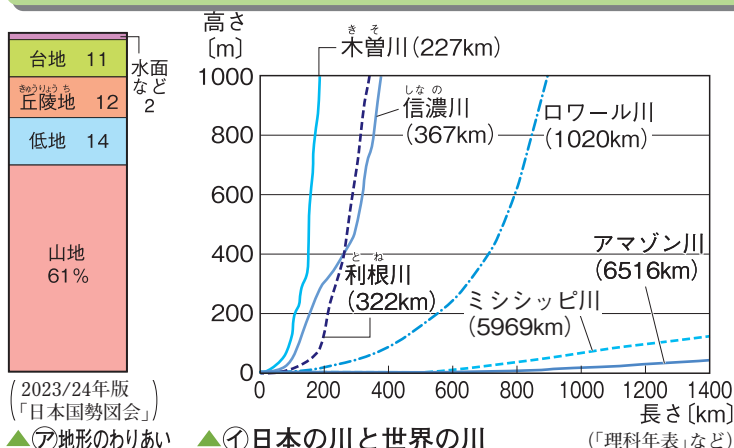
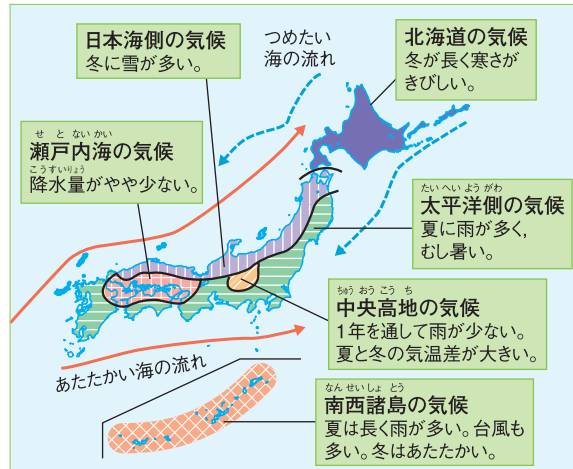


2

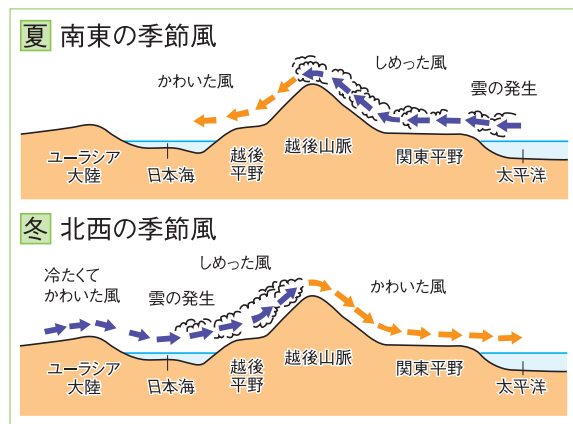
日本の地形と気候



⑦ さまざまな地形



⑧ 日本の気候区分



⑨ 季節風のしくみ

I 日本の地形を調べる

(1) 日本の地形の特色

- ① 日本の国土面積の約4分の3は山地や丘陵地であり、平らな土地が少ない (㊦)。
- ② 日本の国土は山がちで、平らな土地が少ない。そのため、日本の川は、外国に比べて長さが短く、流れが急である (㊦)。
日本最長は信濃川の367kmで、世界最長はナイル川の6695km
- ③ 日本列島の中央部には、背骨のように山地・山脈が連なっている (㊦)。
- ④ 盆地は川の中流域にあることが多く、河口周辺には平野が広がっている (㊦)。
山に囲まれた平地

(2) 地形の種類 (㊦)

- ① 山地…山脈・高地・高原など。
- ② 平地…平野・盆地・台地など。
- ③ 海岸…出入りの多い海岸, 砂浜海岸など。
リアス海岸

2 日本列島の気候を調べる

(1) 気候の特色…四季(季節)の変化がはっきりしている。5～7月ごろに梅雨。夏から秋にかけて台風が多い。

(2) 気候と季節風

- ① 国土が南北に細長い日本は、地域により気候が異なる (㊦)。
- ② 夏の季節風は太平洋側からふき、冬の季節風は、ユーラシア大陸から日本海をこえてふく (㊦)。
南東からふく, 北西からふく
- ③ 夏の季節風は、太平洋側の地域に雨をふらせ、日本海側をかんそうさせる。冬の季節風は、日本海側に太平洋側に雨が多くふるため、水分が少なくなりかんそうした風になる。大量の雪をふらせ、太平洋側をかんそうさせる (㊦)。



やってみよう

いくつ正しく
できたかな？

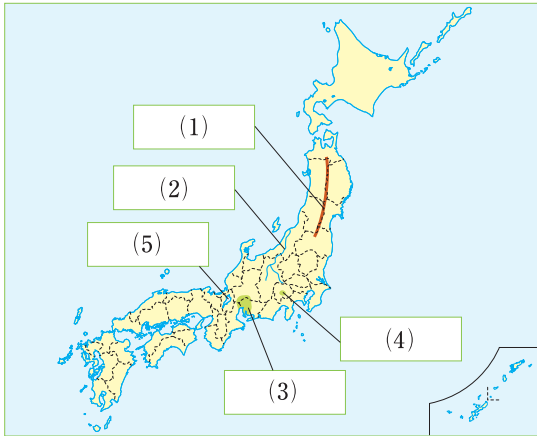
1回目

問/16問

2回目

問/16問

1 地形をチェックしよう 左の地図中の□にあてはまることばを書こう。



(1) 日本で最も長く、南北に連なる山脈。

(1)

(2) 日本海に注ぐ日本で最も長い川。

(2)

(3) 岐阜県や愛知県などに広がる平野。

(3)

(4) 山梨県の中央部に広がる盆地。

(4)

(5) 滋賀県にある日本最大の湖。

(5)

2 日本の地形 次の文中の{ }から正しいことばを選んで書こう。

(1) 日本は、国土の面積の {約2割 約50% 約4分の3} が山地や丘陵地になっている。

(1)

(2) 日本列島の中央部には、背骨のように {山脈・山地 平野 台地} が連なっている。

(2)

(3) 日本の川は、外国の川に比べて長さが短く、流れが {ゆるやか 急} である。

(3)

(4) 川の中流域には盆地があることが多く、河口周辺には {高原 平野} が広がっている。

(4)

3 日本列島の気候 次の文中の□にあてはまることばを書こう。

(1) 日本は、春・夏・秋・冬と気候が変化し、□のちがいがはっきりしている。

(1)

(2) 日本の大部分の地域では、5～7月ごろに、雨がふり続く□が見られる。

(2)

(3) 夏から秋にかけては□が日本列島に上陸することが多く、強風やこう水などによって大きな被害ひがいが出ることもある。

(3)

(4) 夏と冬でふいてくる向きが変化し、日本の気候に大きなえいきょうをあたえる風を□という。

(4)

(5) 日本海側の気候は、冬に大量の□がふるため、夏よりも冬の降水こうすい量が多くなっている。

(5)

(6) □側の気候は、夏は雨が多くてむし暑くなり、5～7月ごろや秋の長雨の時期がはっきりしている。

(6)

(7) 北海道の気候は、□が見られないため、5～7月でも降水量が少ない。

(7)



問題をとこう

月 日

得点



/100点



1 日本の地形について、次の問いに答えなさい。

(5点×8)

(1) 右のグラフIを見て、次の問いに答えなさい。



水面など2

(2023/24年版「日本国勢図会」)

① 日本の国土面積にしめるわりあいが最も多い地形は何ですか。グラフI中から選んで、書きなさい。

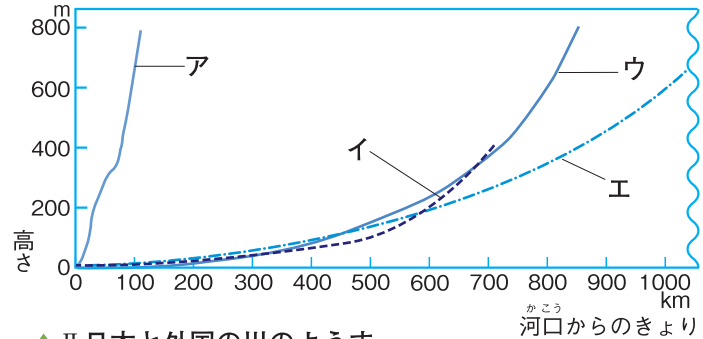
{ }

② グラフIから、日本の国土は、低くて平らなところと高くてけわしいところのどちらの面積が広いですか。

{ }

(2) 右の図IIを見て、次の問いに答えなさい。

▲ I 地形のわりあい



▲ II 日本と外国の川の様子

① 図II中のア～エのうち、1つは日本の川で、ほかの3つは外国の川の様子を表しています。日本の川の様子を表したものを選び、記号で答えなさい。

{ }

② 図IIから、日本の川のどのような特色がわかりますか。次から選び、記号で答えなさい。

{ }

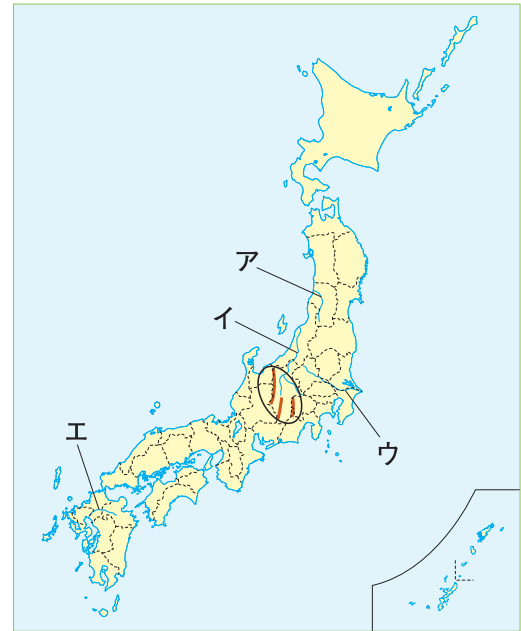
ア 長さがたいへん長く、ゆったりと流れている。

イ 長さはたいへん短い、流れは平野をゆるやかに流れている。

ウ 長さが短く、流れがたいへん急である。

エ 日本海側から太平洋側へと流れている。

(3) 右の地図IIIを見て、次の問いに答えなさい。



▲ III 日本の地形

① 地図中のア～エの川とその流域に広がる地形の組み合わせとして、正しいものを次から選び、記号で答えなさい。

{ }

ア 最上川－根釧台地 イ 信濃川－越後平野

ウ 利根川－庄内平野 エ 筑後川－関東平野

② 地図中の○の3つの山脈を合わせて、日本アルプスとよんでいます。日本アルプスとよばれる山脈の組み合わせを次から選び、記号で答えなさい。

{ }

ア 飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈 イ 奥羽山脈・木曾山脈・赤石山脈

ウ 飛騨山脈・日高山脈・越後山脈 エ 越後山脈・木曾山脈・奥羽山脈

(4) 次の①・②のことばに共通する地形をあとのア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 石狩・淀・筑後 { } ② 北見・紀伊・中国 { }

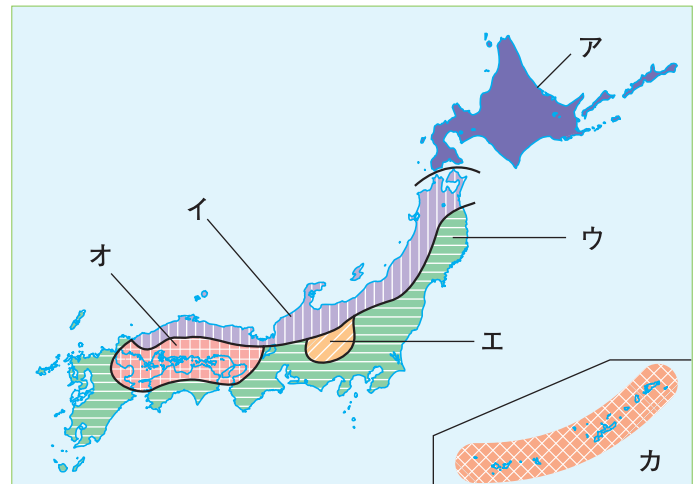
ア 平野 イ 盆地 ウ 川 エ 山地 オ 山脈

2 日本の気候について、次の問いに答えなさい。(6点×5)

- (1) 日本の気候の特色にあてはまるものを次から選び、記号で答えなさい。()
- ア 国土が南北に細長いため、東側と西側で季節のちがいは見られない。
 イ 国土のほとんどの地域で、春・夏・秋・冬の四季(季節)が見られる。
 ウ 国土が南北に細長いため、北よりも南のほうが冬のおとずれが早い。
 エ 国土がせまいので、国土のほとんどの地域で四季(季節)の変化が見られない。
- (2) 日本の広い地域では、5月から7月ごろにかけて雨がふり続きます。この長雨のことを特に何とよんでいますか。()
- (3) (2)は、日本全国で見られるわけではありません。(2)が見られない地域を次から1つ選び、記号で答えなさい。()
- ア 瀬戸内海沿岸 イ 太平洋沿岸 ウ 中央高地 エ 北海道
- (4) 夏から秋にかけて、発達した熱帯低気圧が日本をおそい、強い雨や風によって大きな被害が出る場合があります。この発達した熱帯低気圧を特に何といますか。()
- (5) 日本では、季節によって北西からふいてきたり、南東からふいてきたりする風が見られます。この風を何といますか。()

3 次の文にあてはまる気候区を右の地図中のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。(5点×4)

- (1) 冬でもあたたかく、夏の期間が長く降水量が多い。また、台風が来る数が特に多い。()
- (2) 本州に広がる気候区で、冬にたいへん多くの雪がふるため、多くは夏より冬の降水量が多い。()
- (3) 夏は高温となり、降水量が多く、むし暑い。冬は晴れの日が続いて、かんそうする。()
- (4) 1年を通して降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい。()



▲日本の気候区分

4 この問題はちょっとむずかしいよ 次の資料は、中国地方・四国地方の断面図と、この図についての説明です。資料をもとにして、中国山地と四国山地にはさまれた瀬戸内海沿岸で、1年を通して降水量が少なめである理由をかんたんに説明しなさい。(10点)

	<ul style="list-style-type: none"> ・冬には、日本海からのしめった風が、中国山地の北側に雨や雪をふらせたあと、かわいた風となって、山地の反対側にふきおろす。 ・夏には、太平洋からのしめった風が、四国山地の南側に雨をふらせたあと、かわいた風となって、山地の反対側にふきおろす。
--	--

()



ここで確認

ピラミッドクラブ

チェック
らん

おうちの人 先生

月 日

1 日本の地形について、にあてはまる平野・盆地・台地・川・山脈(山地)の名前を書こう。

①日本で最も長い

山脈

②北海道東部に広がる

台地

③日本で最も長い

川

④日本で最も広い

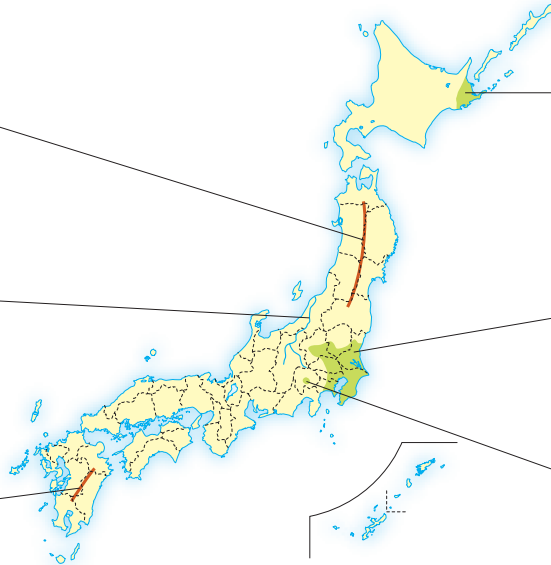
平野

⑤九州で最も長い

山地

⑥山梨県に広がる

盆地



2 次の問いの答えを書こう。

- (1) 日本の国土面積のうち、山地と平地ではどちらが広いですか。 ()
- (2) 山に囲まれた、低くて平らな地形を何といいますか。 ()
- (3) 日本アルプスとよばれる山脈は、木曾山脈・赤石山脈と何山脈ですか。 ()
- (4) 三陸海岸などに見られる、出入りの多い海岸地形を何といいますか。 ()
- (5) 大きな川の下流域に広がる、低くて平らな地形を何といいますか。 ()
- (6) 日本の川の流は、外国の長い川に比べて、急ですか、ゆるやかですか。 ()



中学
への
キャラバン

地理

日本は8つの地方に分けることができます。府県名や地形の名前を書こう。

①稲作のさかんな

平野

②世界有数のカルデラをもつ

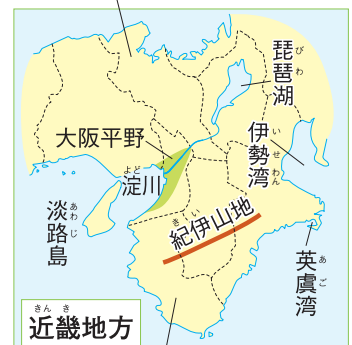
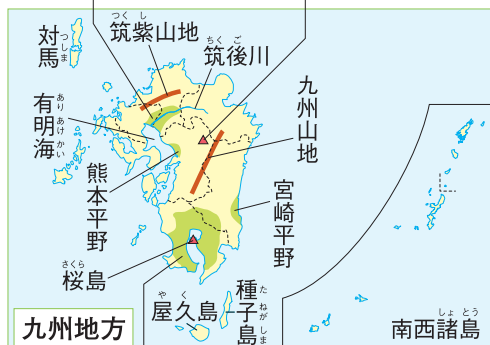
山

④肉牛の放牧がさかんな

山地

⑦日本海に面した

府



③火山灰のつもった

台地

⑤太平洋に面した

平野

⑥日本海に面した

県

⑧みかんの生産がさかんな

県

3 日本の気候について、にあてはまることばを書こう。

日本海側の気候

冬に ① が特に多くふる。

② の気候

夏と冬の気温差が小さく、降水量がやや少ない。

南西諸島の気候

夏が長く、雨が多い。発達した熱帯低気圧である ④ の被害が多い。

北海道の気候

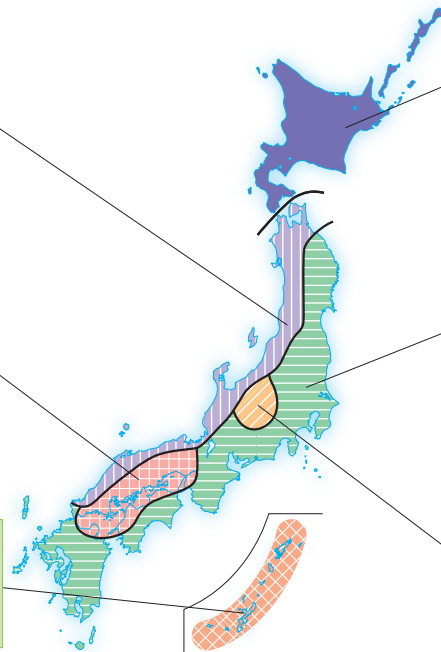
冬が長く、寒さがきびしい。

③ の気候

夏に雨が多く、むし暑い。

中央高地の気候

夏と冬の気温差が大きく、1年を通して ⑤ が少ない。



4 次の文中の にあてはまることばを書こう。

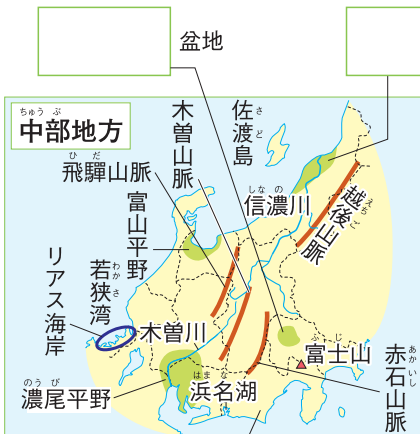
- (1) 日本の気候は、春・夏・秋・冬の がはっきりしている。 ()
- (2) 地方では、5～7月ごろに雨の日が続く梅雨が見られない。 ()
- (3) 冬の季節風は の方角から、夏の季節風は南東の方角からふく。 ()
- (4) 夏から秋にかけて、発達した熱帯低気圧である がおそい、こう水の被害が出ることもある。 ()
- (5) 太平洋側の気候は、夏は気温が高く、 が多くふる。 ()
- (6) の気候は、冬でもあたたかく、1年中雨が多い。また、(4)の通過で大きな被害を受けることもある。 ()

⑨ぶどうの生産がさかんな

⑩稲作のさかんな

⑫りんごの生産がさかんな

⑭らく農がさかんな

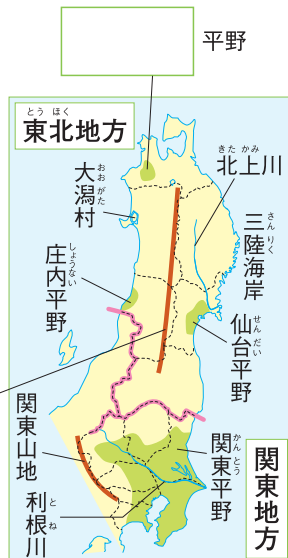


⑪茶の生産量日本一の

県

⑬日本で最も長い

山脈



⑮大きな畑作がさかんな

平野